

国際会議から

第1回次世代鉄道用移動通信システム会議 (1st UIC Global FRMCS Conference)

本会議は、UICが進めている次世代の鉄道用移動通信システム (Future Railway Mobile Communication System : FRMCS) プロジェクトが主催した、初の全世界的な会議でした。現在、国際的に相互乗り入れする列車が多い欧州を中心に、第2世代移動通信システムをベースとした列車無線システム (GSM-R) が導入されていますが、GSM-Rは開発からすでに20年が経過し、2030年にはサービスの停止が予定されています。そこで、後継となるシステムの仕様検討が、本会議を主催したプロジェクトで進められています。会議では、現在使用されているGSM-Rと関連列車制御システムの紹介、第5世代移動通信システム (5G) の仕様に鉄道特有の機能を加えたFRMCSの仕様、鉄道用として確保を考えている周波数帯、展開に向けたスケジュールなど、2日間で40件の講演が行われました。Global Conferenceであったものの、ほとんどが欧州に特化した話でした。しかし、日本でも5Gの列車無線への活用が議論されていることもあり、仕様の中身や5Gの仕様を定めているプロジェクト (3GPP) や他団体と連携した標準化活動の内容など、とても貴重な情報が得られた会議でした。



会場のUIC本部とエッフェル塔



中村一城

信号・情報技術研究部
ネットワーク・通信研究室長

正式名称：1st UIC Global FRMCS (Future Railway Mobile Communication System) Conference
 開催国：フランス(パリ)
 期間：2019年5月14日～15日
 主催：UIC
 開催頻度：不定期
 次回開催予定：未定
 ホームページURL：<https://uicfrmcs.org/>